

「おおきいほうが  
たおれる!」



「ちょっとおくに  
してみよう」



「ちかくだと  
どうかな?」

### エピソード

A 児が、水鉄砲を魚の形の的に向けて噴射していると、B 児と C 児が「的当て屋さんになろう」と言いながら、的のついたペットボトルに水を7割ほど入れ始めた。A 児は水鉄砲を小さい的に向けて何度も噴射するが、なかなか倒れず、大きな的を狙うと倒れた。保育者が「どうして1つは倒れて、もう1つは倒れないのかな?」と聞くと、A児はしばらく考え「的が大きいからかな」と答えた。A 児は側で見ていた B 児、C 児に「一緒に倒すのを手伝って」と声をかける。3人で、水鉄砲をかまえて、的を狙うがなかなか倒れない。B 児が「水の量が多いからじゃない?」と言い、3人は保育者に手伝ってもらいながら、小さいの水の量を減らしている。水の量を少し減らしては、水鉄砲を噴射することを繰り返し、水の量が半分程になったところでの的は倒れた。3人は「やったーたおれた!」と喜び合っていた。

### 子どもの育ちや学び

- ① 的を狙ってみよう (学びに向う力)  
↓
- ② 1つは倒れるのにもう1つは倒れない  
なんでだろう? (知識や技能の基礎)  
↓
- ③ ・水てっぽうから出る水の量が少ないからだ!  
(思考力判断力表現力等の基礎)  
・よし、他の友だちも呼んで一緒に倒してみよう!  
(学びに向かう力と人間性)  
↓
- ④ 倒れない。なんでだろう?  
(思考力判断力表現力等の基礎)
- ⑤ 魚のイラストの大きさが違うからかもしれない  
じゃあ水を減らしてみよう (知識や技能の基礎)  
↓
- ⑥ 水の量が減ると倒れる!おもしろいなあ  
(知識や技能の基礎)  
↓
- ⑦ 違う的ではどうなるのかな?もう1回やってみよう  
(思考力判断力表現力等の基礎) (学びに向う力)

### 保育者の思い

- ・保育者や友だちと会話を楽しみながら協力して遊んでほしい
- ・ペットボトルに入っている水の量や的の大きさに気付いてほしい。
- ・水に関する疑問や興味を持ち、探求心を育てていきたい。
- ・一緒に楽しみながらA児やB児の気付きや驚き、喜びを共感したい。
- ・水てっぽうを握り、狙い定める手先の器用さや、的を狙う集中力を養っていきたい。